

6・24AWC 首都圏集会決議

「復帰」から 40 年、沖縄の基地の島としての現実はいっこうに変わることはない。日米両政府はあくまでも名護・辺野古新基地建設にこだわる姿勢を変えていない。一方で、普天間基地は固定化が画策されている。米政府は墜落事故を繰り返している輸送機オスプレイを、今年 8 月にでも普天間に配備しようとしている。これを日本政府が後押しをしている。これらの暴挙に対して、沖縄人民の怒りは頂点にいたろうとしている。

われわれアジア共同行動首都圏は、こうした沖縄人民の怒りと結合し沖縄の反基地闘争に連帯していく。われわれは今年の 5・15 を沖縄・東京・関西で同時に闘い抜いた。沖縄―「本土」を貫いたこの闘いの地平をもって、オスプレイ沖縄配備反対を闘っていく！

政府は朝鮮民主主義人民共和国の人工衛星発射を口実として、PAC3 を重火器で武装した自衛隊員とともに沖縄に配備した。これは一昨年の動的防衛力構想―南西防衛を打ち出した防衛大綱の実現に他ならない。そしてこの軍事行動は対中国を意識したものであり、それはまた米軍再編と連動した動きでもある。

山口県岩国市では地域住民の反対の声を圧殺して愛宕山に米軍住宅地を建設し、岩国基地の拡大と基地機能の大強化がなされようとしている。そして、沖縄に配備しようとするオスプレイのテスト飛行を行おうとしている。絶対に許してはならない！

神奈川ではキャンプ座間に米陸軍第一軍団前方司令部が設置され、同時に陸自の中央即応集団司令部（CRF）が設置されている。横須賀は米原子力空母ジョージ・ワシントンの母港化が強行されている。

われわれは米軍再編反対を掲げてアジアから米軍総撤収を勝ちとる闘いに立ち上がる。

韓国の民衆は国防相の訪日を阻止し、日韓軍事情報包括保護協定（GOSMIA）と物品役務相互協定（ACSA）締結を粉砕している。日米韓軍事同盟に楔を打ち込んでいる。

こうした韓国民衆の闘いに連帯し、日米軍事一体化阻止を闘っていこう！ 沖縄―岩国―座間・厚木を貫いた闘いを巻き起こしていこう！ 今秋の岩国国際集会に結集し、米軍再編と闘っていこう！

そしてこれらの闘いは排外主義との闘いと一体のものでなければならない。われわれは国際主義の真価をかけて差別・排外主義と闘っていく。入管法改悪・強化を許すな。

同様に社会的矛盾を労働者階級人民に押し付け、労働者の生活を破壊する攻撃を許してはならない。消費税増税攻撃と生活保護費の引き下げを許してはならない。

われわれは新自由主義グローバリゼーションそのものである環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加に反対する。そして激化する憲法改悪攻撃と対決していこう。闘う労働者・労働組合と連帯し、労働者の権利を防衛する運動に立ち上がろう！

本年 5 月、日本の全原発が停止した。しかし野田政権は原発を再稼働させようとしている。何としても阻止していかなければならない。大飯原発再稼働阻止を闘っている関西の仲間や全国の反原発運動、そして地域住民の闘いと結合していこう。

われわれは AWC-CCB（国際幹事会）における反原発国際決議に則った活動を創出していかなければならない。福島の大震災者と結合した闘いとして反原発を闘っていこう。そして被爆者―被爆二世・三世の闘いと連帯した反戦・反核闘争として、反原発の闘いに取り組んでいこう。

3・11 福島現地集会、6・17 福井現地全国集会の地平をもって、7・16 代々木公園集会の大結集を勝ちとっていこう！

韓国では 12 月大統領選挙を巡って社会が揺れている。貧富の格差が拡大し、正規職―非正規職を貫いた闘いが求められている。また済州島で進められている韓国海軍基地建設に対して、住民が連日闘っている。

われわれは韓国労働者の闘い、反基地闘争に具体的に連帯して闘っていく。韓日政府による韓国入国拒否弾圧を粉砕し、具体的実践的な国際的団結を勝ち取っていく決意である！

以上決議する。

2012 年 6 月 24 日

集会参加者一同